

世界の人とふれあいタイム

平成23年9月23日(日)実施

今回のゲストのアレハンドラさんは、現在日本工学院八王子専門学校ミュージックアーティスト科の2年生です。来日する前の約1年間、現地の日本語専門学校で日本語を勉強し、日本に来てからも5か月間、日本の勉強を続けた関係で、とても流暢な日本語でアルゼンチンの事を語って頂きました。日本に来た主な理由は、日本で演奏されているパーカッションやマリンバの音楽に、感動したからだそうです。

まず南米(アルゼンチン)は、時間に大変ルーズでゆっくりのんびりしていて、曖昧表現が多い地域です。日本に来て、電車が時刻どおりに走っているのには驚いたそうです。



アレハンドラさん

さて、アルゼンチンの人種は、スペイン系・イタリア系・ロシアヨーロッパ系に分類され、アレハンドラさんはイタリア系です。参考までに、人口では、ロシアヨーロッパ系が最も多いそうです。

観光地としては、イグアスの滝が知られていて、世界で最も有名な世界遺産の一つです。またイギリス領であるフォークランド諸島は、フォークランド紛争(マルビナス戦争)でも有名ですね。一方、南方のパタゴニアに於いては草原や湿原があり、サーモンのフライフィッシングが盛んで、また10月になるとホエールウォッチングが有名で、最近は現地の土地を外国人が観光バカンス用に買っています。

有名人では、革命家のチェ・ゲバラ、サッカー界では、マラドーナ及びメッシです。また俳優であり歌手のサン德拉は、第二のエルビス・プレスリーとして慕われていますが、昨年亡くなっています。

飲み物としては、マテ茶が有名です。確かに、今回お土産に頂いたマテ茶を飲むと目が覚めました。コーヒーと日本茶と同じで、家族や友人と話をする時、揚げ菓子(ツーロ)と一緒に飲む習慣があり、北側ではお湯の替わりにジュースを飲むそうです。



アルゼンチン・タンゴはこんな風に…

んも一度トライしてみませんか。

最後にアレハンドラさんの将来の夢は、ピース・ポートで働きながら、世界を巡る事だそうです。

ふれあいタイム委員 生山 龍哉

防災訓練

八王子市総合防災訓練

八王子市総合防災訓練が、10月2日(日)に上壱分方小学校を中心会場とし、元八王子市民センターや天使病院などの複数施設も使用して、行われました。当日は曇天で雨が懸念される空模様ながら、東日本大震災後の本格的な総合防災訓練とあって、2,000人近い市民が参加しました。上壱分方小学校校庭では、八王子市と八王子国際協会が協働で、外国人支援センターを開設し、留学生を含む多くの外国人(31名)や協会の語学ボランティア(英語、中国語、韓国語、スペイン語)が参加しました。今年は初めての企画として、災害時に外国人が言葉がわからない、病気になったことなどいくつかのケースを想定した、外国人と語学ボランティアのロールプレイングを行いました。不慣れな場面もありましたが、外国人の皆さんには、よく対応していました。恒例の消火器訓練、起振車体験、包帯の巻き方などを学びました。最後に、昼食としてカレーがふるまわれ、非常食の乾パンを試食した子どもたちは、大喜びでした。訓練後、黒須八王子市長からご講評をいただき、無事終了いたしました。

小比企町一丁目防災訓練

小比企町一丁目で防災訓練が、10月30日(日)、由井第三小学校グラウンドで行われました。八王子市と八王子国際協会は、協働で国際交流コーナーのテントを設置し、近隣の市民と10人の留学生、5人の語学ボランティア(英語、中国語、スペイン語)も参加した国際色豊かな防災訓練となりました。地震で倒壊した家屋から、ジャッキを使用して被災者を救助する訓練、消火器を使用した初期消火訓練、被災者と救援本部をつなぐ無線を使用しての通報訓練、そしてAEDや三角巾の使い方など、丁寧な指導は、外国人にも好評でした。

多言語による高校進学ガイダンス

日本語を母語としない親子のために、日本の高校への進学ガイダンスを、10月30日(日)13:00~16:30多言語で行いました。

会場の学園都市センターの第1セミナー室には、中学生とその保護者など約30人が参加しました。また、現役高校生の体験談には、中学生からの「日本語の勉強の仕方」や「高校生活について」の質問が活発に飛び交いました。当日待機した通訳は6か国語、同時通訳として大活躍でした。



中学生親子の真剣な
ついた
個別相談。
談に通訳の言葉にな
りこなさ
ったしまっ